## 三河武士のやかた家康館 企画展 「日本刀押形展 ~幽玄美の世界~」 前期:2020年6月1日(月)~6月16日(火) / 後期:2020年6月18日(木)~6月28日(日)

	《特別	<b>リ展示室》</b>				
	種別	銘	年代、押形の表装、備考	法量(刃長/反り)	前期	後期
1	薙刀	(表)九州筑後ニテ下坂八郎左衛門作	未表装、慶長8年(1603)、	486/25.0	•	•
		(裏)慶長八年八月吉日 樋口越前守持料	表裏に薙刀樋と添樋、	•		
3	<u>太刀</u> 太刀	安□(網) 忠重	額装(横)、平安時代後期~鎌倉時代初頭、 額装(横)、鎌倉時代初期、古備前鍛冶、	740/24.0 746/30.0	<u> </u>	<u> </u>
4	太刀	(判読不能 伝、古青江)	パネル(横)、平安時代末期~鎌倉時代初期、	741/24.0	<del>-</del>	<del>*</del>
			軸装(縦)、鎌倉時代前期、		<u> </u>	
5	小太刀	吉包作	尾張徳川家旧蔵(旧重要美術品)、拵付、	590/18.0	•	•
	4.77	が 麻 当 左 川 口 【 三 日 国 仁	パネル(横)、延慶2年(1309)、	554 /04 0	_	
6	太刀	延慶貮年八□十三日國行	表は香箸、裏は櫃内に不動明王の彫刻	774/34.0	•	•
			パネル(横)、鎌倉時代末期、			
7	太刀	延吉	表裏に棒樋、表は腰元に素剣の彫刻を添えた	649/23.0	•	•
			痕跡あり、千手院鍛冶、			
	Long	(表) 雲生	額装(横)、鎌倉時代末期、	252 (21 2		
8	太刀	(裏) (切付銘)十	表は梵字と鎬地に腰樋、裏は香箸と梵字の彫刻。	676/21.0	•	•
		(表) 備州長舩祐光	烈、			
9	大刀	(裏) 文安五年二月日 (金象嵌銘)万治元年戌閏十二月	額装(横)、室町時代中期、	643/15.0	•	•
0	X()	サ六日 三ツ胴切落 山野加右衛門尉永久 華押	拵付、	010/ 10.0	•	•
			額装(横)、鎌倉時代末期~南北朝初期、			
10	太刀	(表)備中國	佩き表茎中に佛号の彫刻、折返し前は佩き表	697/17.0	•	
		(裏)(折返し)住次直作	に「備中國住次直作」の銘、			
		(主) 扣从什麼工	額装(横)、寶徳2年(1450)、			
11	小太刀	(表) 相州住廣正 (裏) 寶徳二年八月日	表は櫃内に三鈷剣と梵字、裏は櫃内に独鈷杵	618/14.0		•
		(表) 貝心一十八月日	と梵字の彫刻、庄内藩酒井家旧蔵、			
12	太刀	包永	パネル(横)、鎌倉時代後期~末期、	705/15.0	•	•
		<b>濃州</b> 関住兼 <b>定</b> 作	岡崎藩主水野忠之が将軍家より拝領、	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>
13	刀		額装(横)、戦国時代、表裏に棒樋、	655/18.5		
14	刀	(表)濃州関住人兼綱作 (裏)(金象嵌銘)慶安元戊子年三月十日 貮ツ胴切落	額装(横)、戦国時代、	662/17.0	•	•
14	),	山野加右衛門尉永久 華押	拵付、	002/17.0	•	•
		(表)濃州赤坂住兼元作				
15	刀	(裏)享録元年八月日	額装(横)、享禄元年(1528)、	622/19.0	•	•
1.0	4-T		パネル(横)、鎌倉時代末期、	770 /04 0	_	
16	太刀	國口(宗)	表裏に棒樋、備前三郎、	772/24.0	•	
17	大脑指	藥王寺	パネル(横)、戦国時代、	594/11.8		•
11	八加加1日		土佐藩山内家旧蔵、	334/ 11.0		
18	刀	(表)備前國住長舩与三左衛門尉祐定	額装(横)、天文6年(1537)、	623/25.0	•	•
		(裏)天文六年二月吉日	パネル(横)、戦国時代、		-	
19	刀	(表) 正真	スイル(傾)、戦国時代、 表に腰樋と梵字、裏に香箸と梵字、酒井左衛	706/19.0	•	•
19	),	(裏)(金象嵌銘)猪切	門尉忠次指料(松平甚三郎家旧蔵)、	100/ 19.0	•	•
		(表) 栗原信秀	パネル(横)、明治3年(1870)、			
20	刀	(裏)明治三年十二月日	表に珠追い龍、裏は三鈷柄聖剣の彫刻、	670/17.0	•	
21	刀	於南紀重國造之	パネル(横)、江戸時代前期(元和~寛永頃)、	699/11.0		•
	槍	(表)九州肥後國同田貫上野介(切付銘)廿十□(乗)	未表装、桃山時代、	穂長 732	•	
22	1/目	(裏)(切付銘)四	平地中央に棒樋を丸留めし朱漆を流す、	(塩首含む)	▼	
23	槍	村正	額装(縦)、戦国時代、	穂長 319		_
23	176	1.7 11.	(現 <b>教</b> (秋)、	(塩首含む)		
	// def- 171					
		リ展示室外》	legación de sida de ser estados de s	V. B. (7 B. (-) b.)	37. Ibn	// Ile
	種別	銘	押形の表装、備考	法量(刃長/反り)	前期	後期
24	太刀	國綱	額装(横)、平安時代末期〜鎌倉時代初期、 古備前鍛冶、押形のみ展示、	774/24.0	•	•
			<u> </u>			
25	$+\pi$	景依造	表裏に棒樋、刀身は国重要文化財、押形のみ	773/33.0	•	•
20	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	W. D.V.C.	展示、	110/ 00.0	•	•
			パネル(横)、平安時代末期~鎌倉時代初期、			
26	太刀	正恒	徳川家綱奉納品、刀身は国重要文化財、押形	784/33.0	•	
			のみ展示、	•	•	
			パネル(横)、鎌倉時代後期、			
27	太刀	長光	徳川家光奉納品、刀身は国重要文化財、押形	813/24.0		•
			のみ展示、			
0		(表)心慶胤光造	パネル(横)、文久3年(1863)、	540 /···		
28	刀	(裏)文久三年二月吉日	表は笹竹、裏は蓮台に護摩箸と梵字、押形の	746/14.0	•	
			み展示、 パネル(横)、鎌倉時代末期、			
29	太刀	國宗	ハネル(傾)、鎌倉時代末期、 備前三郎、押形のみ展示、	724/22.0		•
-	※①展	示の都合上、目録番号と展示順序は必ずしも一致しませ				

## 三河武士のやかた家康館 企画展 「日本刀押形展 〜幽玄美の世界〜」 前期:2020年6月1日(月)〜6月16日(火) / 後期:2020年6月18日(木)〜6月28日(日)

### 20			展示室》				
32 到 □図		種別	銘 (  /   /	押形の表装、備考 パネル(構) 江戸時代前期(鹿宍頃)	法量(刃長/反り)	前期	後期
22 利 □図			(表)高松宮賞濃州武芸川住兼圀謹作		,		•
32	32	剣	227 1 //2 1		180/なし	<b>*</b>	•
### 201 末秋光 翻雲 (報)、 本学本文 (大田 (版 )	33	短刀	来國光	額装(縦)、鎌倉時代末期~南北朝時代前期、	270/なし	<b>*</b>	•
55 切刀 安古	34	短刀	来國光	額装(縦)、鎌倉時代末期~南北朝時代前期、	264 / ts L	•	•
(未) 悟州末型作兵器						•	•
第五 月底岩溶   第五   第五   第五   第五   第五   第五   第五   第			(表)備州長舩住長義	額装(縦)、貞治4年(1365)、 「ニニ」は四の異体字「亖」の私体、表に素	•	*	•
35 短刀	37	毎刀			201 /2 0	•	
24 (元)				額装(縦)、戦国時代、			•
### 報告報告   第24   1   1   1   1   1   1   1   1   1				表裏に香箸、通称「二見浦ノサダ」、拵付、 額装(縦)、鎌倉時代末期、 まに林字と四瞬、恵は系第、抜け	,	•	
## 知刀 (字) 信間	40	短刀	金重作	額装(縦)、南北朝時代末期〜室町時代前期、 表裏ともに刀樋、『土屋押形』所載、一条家	294/1.0	•	•
### 1	41	短刀		額装(縦)、応永31年(1424)、	293/なし	•	<b>*</b>
4 短刀 東元		短刀	□(宇)多國房	額装(縦)、室町時代初頭、 拵付、	*	•	<b>*</b>
15			2 1 7405 1 1		,	<u> </u>	<u></u>
##				額装(縦)、室町時代中期、		<u>*</u>	
47 短刀 歳口(州)関□(住) 兼常作	46	寸延 短刀	平安城長吉	額装(縦)、戦国時代、 表に腰樋、裏は逆向きの草の倶利伽羅龍、刀	303/3.0		•
(表) 値前國住長舩祐定作 (表) 成人 大平 (大) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表	47	短刀	濃□(州)閨□(住)兼常作	額装(縦)、戦国時代、	208/内屋り	•	•
49 脇指 (表) 紀州明光山文殊九郎三郎重國 元和七年二月日			(表)備前國住長舩祐定作	<u>.</u>		•	•
50    監指   (表)陸東守大道作	49	脇指	(表)紀州明光山文殊九郎三郎重國 元和七年二月日	松平志摩守重成は大草松平家出身の旗本、旧	426/8.8	•	•
52 短刀 (表) 歳州関三阿弥兼高   表裏に棒輪 緒方が鹿氏旧蔵、栫付、  540/15.0 ▼   ★   表裏に棒輪   表裏に棒輪   株計時代本江戸時代前期、   153/内反り ▼   ★   大阪上貞   表裏に棒軸   新装(縦)、桃山時代本江戸時代前期、   153/内反り ▼   ★   大阪上貞   新装(縦)、水添川平(1568)、   ★   ★   ★   ★   ★   ★   ★   ★   ★	50	脇指		額装(縦)、桃山時代、大縄監物義辰は常陸佐 竹氏の一族で家臣、拵付、	362/4.0	<b>*</b>	<b>*</b>
2	51	脇指		表裏に棒桶、緒方竹虎氏旧蔵、拵付、	546/13.0	•	•
53 短刀   (表) 八尺   (表) 八尺   (表) 係表   十年八月十三日   接近土比べとする彫刻、   (表) 備前國住長船勝光宗光於備中草壁作   (表) 備前國住長船勝光宗光於備中草壁作   (表) 備前國住長船勝光宗光於備中草壁作   (表) 廣東江   (裏) 慶應四年八月日   (裏) 世界   (表) 代表   (表) 代本   (表) 代本	52	短刀		表裏とも腰に薙刀樋、	153/内反り	•	•
大田	53	短刀		表は腰樋と梵字に蓮台を重ね、裏は細い二筋	298/2.0	•	•
2	54	鐔	(無銘、鶴丸文透鐔)	フォトスタント゛、		<b>♦</b>	<b>♦</b>
26 短刀 (表)藤原永貞 (裏)慶應四年八月日   額装(縦)、慶応4年(1868)、   267/なし ◆ ◆	55	刀		と棒樋、裏は「摩利支尊天」の文字彫りと棒	630/21.0	•	•
57 短刀 相州住網廣造之   一切	56	短刀			267/なし	•	<b>*</b>
表裏に棒樋、押形のみ展示、   112 21.2	57	短刀		刀身の表に「題目」裏に「妙見大菩薩」の文	291/3.0	•	•
種別 銘	58	太刀	真長	額装(横)、鎌倉時代後期、 表裏に棒樋、押形のみ展示、	712/21.2	<b>*</b>	•
種別 銘		// 1 KHz	展示客外》				
59 太刀 兼則				押形の表装、備考	法量(刃長/反り)	前期	後期
五年   五年   五年   五年   五年   五年   五年   五年	59			額装(横)、南北朝時代末期、			•
61 短刀 (表) 筑州住國弘作 (裏) □ (正) 平廿三年三月日				額装(縦)、鎌倉時代後期、表は素剣、裏は香	•	•	•
62 剣 (表) 来國次 (裏) 嘉暦二年三月八日	61	短刀		額装(縦)、正平23年(1368)、 表は香箸、裏は腰樋に添樋を丈比べ風に掻き	274/1.7	•	
(表) 最信 年三月八日 表展に編輯、押形のみ展示、 226/なし ★ 額装(縦)、戦国時代、押形のみ展示、 226/なし ★ 額装(縦)、延文5年(1360)、 表は草の倶利伽羅龍、裏は梵字三態の重ね彫 259/僅か り、押形のみ展示、 (表) 相模國住人廣光 (裏)延文五年三月日 額装(縦)、延文5年(1360)、表裏に刀樋、備 前池田家旧蔵、押形のみ展示、 362/4.5 ★ 66 毎刀 (表) 備前國住長船源兵衛尉祐定 類特(縦)、元 第 元 元 (1570) 押形のみ展示 262/2.1 ★ ★ 67 年 7 年 7 年 7 年 7 年 7 年 7 年 7 日 7 日 7 日	62	剣		額装(縦)、嘉暦2年(1327)、	226/なし		•
64 短刀 (表)備州長舩兼光 (裏)延□(文)五年十二月日						•	
65 脇指 (表)相模國住人廣光 (裏)延文五年三月日 箱装(縦)、延文5年(1360)、表裏に刀樋、備 前池田家旧蔵、押形のみ展示、 362/4.5 ◆ 66 毎刀 (表)備前國住長船源兵衛尉祐定 箱装(縦) 元亀元年(1570) 押形のみ展示 262/2.1 ◆			(表)備州長舩兼光	額装(縦)、延文5年(1360)、 表は草の倶利伽羅龍、裏は梵字三態の重ね彫		<u> </u>	•
66 毎 〒 (表)備前國住長船源兵衛尉祐定 類状(縦) 元皇元年(1570) 押形のみ展示 262/2.1 ▲ ▲	65	脇指		額装(縦)、延文5年(1360)、表裏に刀樋、備	362/4.5	•	•
	66	短刀	(表)備前國住長船源兵衛尉祐定		262/2.1	•	•

## 三次共士。やかた家康館